

産業教育の評価の観点について（たたき台）

平成28年4月27日
教育課程部会
産業教育WG 資料7

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各観点の趣旨	・各職業分野に関する知識と技術を身に付けている。 ・各職業の社会的意義や役割を理解している。	・各職業分野に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力を身に付けている。	・より良い社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

※ 産業教育において育成すべき資質・能力のうち、学びに向かう力、人間性等にかかわる「職業人として必要な豊かな人間性」については、学習状況を分析的に捉える評価になじまず、一人一人の良い点や可能性、進歩の状況について評価する個人内評価として行うことが適当。

【参考】各教科等の評価の観点のイメージ(案)

（平成28年2月24日 中教審／総則・評価特別部会【資料3－1】より）

観点(例) ※実際に設定する各教科の観点は、教科の特質に対応して検討	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各観点の趣旨のイメージ(例) ※具体的な記述については、各教科の特質を踏まえて検討	(例) ○○を理解している／○○の知識を身に付けている ○○することができる／○○の技能を身に付けている	(例) 各教科の特質に応じ育まれる見方や考え方をを用いて探究することを通じて、考えたり判断したり表現したりしている	(例) 主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしていたりしている